

特定非営利法人 らいぶらいぶ

平成 28 年度(2016 年度)事業報告

1. 会員に関する報告

平成 29(2017)年 3 月 31 日現在 正会員 14 人
賛助会員 72 人 (個人 70 人、団体 2 法人)
ボランティア 28 人
ブックチャンスボランティア 34 人

2. 運営に関する活動報告

今年度で法人発足 11 年目を迎え、7 月には 4 期目となる相模大野図書館受託をめざして事業委員会を中心に、プロポーザルの準備に取り組んだ。

(1) 理事会の開催

平成 26 年度から外部より理事を依頼し、広い視点で法人運営にあたる。

第 1 回 平成 28 年 5 月 14 日

第 2 回 平成 28 年 10 月 8 日

第 3 回 平成 29 年 3 月 25 日

(2) 事業委員会の開催

主に図書館の運営に関する事項について、討議・検討するため、事務局員 7 人が参加し毎月 1 回開催している。

(3) 定例会の開催

原則、毎月第 2 木曜日に事務所にて、事務局からの報告、各プロジェクトおよび新規企画提案を審議・検討する場として、正会員が参加し定例会を開催している。

(4) 働く環境の整備

産休・育休の取得、復職後の育児短時間制度や遅番シフトの免除、短時間正社員制度の導入により、仕事と家庭の両立を支援している。また、仕事を辞めずに親族の介護ができるよう介護休業を取得する事例が出て来ている。

3. 事業の成果

図書館運営事業

平成 28 年 10 月から受託した 4 期目は、9 年間の実績を踏まえつつ、プロポーザルで提案した当法人らしさを全面に打ち出すような新たな図書館運営を行うために、皆で準備を進めていた。

しかし、4 期目受託開始 3 か月で市から実績を問われ委託金を減額され、難しい局面となっている。

体制面では同 27 年 10 月より雇用した契約社員に班リーダーを任せ、副統括やシフト担当に正会員以外の正社員を充てるなど新たな体制でスタートし、スムーズに運営が進んでいる。

市職員(司書)との定例的な蔵書管理委員会が市の都合により定期的にかかれなくなったため、相模原市立相模大野図書館としての方針もわかりにくくなり、現場での混乱が生じている。

LCA 国際小学校図書室の受託は 2 年目となり、蔵書の整理や読書環境の充実を司書教諭と協力しながら進めた。

非営利事業

平成18年からおこなっているエフエムさがみでの「ブックらいぶ」は本の紹介にとどまらず、メンバーが直接出演してトークライブをおこなう等の工夫を重ね、クオリティを高めている。

設立当初から開催している「絵本の中の料理を作る会」も年2回開催し、小学生向けのイベントとして定例でおこなっているが、年々集客が落ちている点に広報の難しさを感じている。

司書力を高めるための「勉強会」は、現場で質問の多い法律関係のレファレンスをテーマとした。さまざまな地域や図書館からの参加があった。

図書館と市民をつなぐ会・さがみはら主催の「図書館ひろば」、市民活動パネル作成等、相模原市内の団体や市民グループとの連携を図った。

さがみはら環境まつりでのおはなし会は、主催団体からの依頼で実現した。

ブックチャンス事業

平成28年度のブックチャンス事業は、3年目のJT NPO助成事業を受け「身近なところでブックチャンを！」を活かして進められた。

市がおこなっている4か月児健診での「えほんdelはっぴい」は、そのとき1回限りであり、場合によっては参加できないこともある。そのフォローを含め、ブックチャンスを定期的・継続的に開催することのメリットは大きい。

- ・地域での居場所ができ、地域で子育てを応援してくれていることを実感できる
- ・身近な場所で行なうことで、小さい子どもを連れて行きやすい
- ・地域に同じ年齢の子どもがいることを知り、交流の場となる
- ・ボランティアが子どもの成長に寄り添える
- ・子育て支援団体(子育て広場の実施団体等)からの信頼を得、連携を図ることができる

事実、ブックチャンスの開催回数・参加人数等が昨年比の約20%増加した。

また、メモリーノートの更なる活用を図るべく、ボランティアからの意見も取り入れながら改訂に取り組んだ。読んだ絵本やそのときの子どものようすを楽しみながらも記録に残しやすいように工夫を重ねた。今年度から、大いに活用したい。

昨年度に引き続き、ボランティアフォローアップ研修会を公開講座とし、ひろかわさえこ氏をお招きし、アットホームな雰囲気の中、講師の人柄もあり、心温かな、幸せな時間を過ごした。

ブックチャンスのPRのために、地域の子育て支援団体・グループと連携し、相模原文化財団との共催で「ベビーフェスタ」を開催した。昨年以上の人気で、早々と締切る回が続出した。コーナーでの体験は、お父さんが積極的に参加する姿が多く見られ、赤ちゃんとのふれあいを楽しんでいたのが印象的だった。

4. 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 図書館利用の普及啓発事業

ア 市内活動紹介パネル展示事業

平成 27 年度に実施した活動についてパネルを作成し、当法人の事業などを紹介。

- ・ **内容**

平成 27 年度に実施した当法人の活動の様子を 1 枚のパネルにまとめ、各種イベント・事業等にて PR 用として展示した。

- ・ **期間** 平成 28 年 8～10 月、平成 29 年 1～3 月
- ・ **場所** あじさい会館、相模原市役所、当法人イベント開催時等
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 11,174 円

イ 図書館ひろば協力事業

図書館と市民をつなぐ会・相模原が主催する「図書館ひろば」への参加事業。

図書館と市民をつなぐ会・さがみはら、相模原市教育委員会主催。

- ・ **内容**

「らぶリンピック～リオ・オリンピックに続こう！」と題し、オリンピックの歴史や種目に関する調べるクイズに挑戦してもらった。本だけではなく、最近の情報は新聞を使って調べるなどの工夫も盛り込んだ。

6 問全ての正解者には金メダルを授与した。

- ・ **日時** 平成 28 年 11 月 27 日(日) 13:00～15:00
- ・ **場所** 相模原市立図書館 中会議室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の幼児～小学校低学年
- ・ **参加者** 6 人
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 9,398 円

ウ 「さがみはら地域づくり大学講座」講師受託事業

同講座の講師を受託。

- ・ **内容**

公益財団法人相模原・町田大学地域コンソーシアムの同講座基礎コース「地域づくりの組織運営と資金計画」の第4コマ「組織設立と運営を事例から学ぶ～NPO 法人の場合～」のテーマに沿いながら、当法人の設立から運営、現在の状況、今後の展望などを講義した。

- ・ **日時** 平成 29 年 2 月 8 日(水) 15:00～16:30

- ・ **場所** ユニコムプラザさがみはら

- ・ **対象者** 「さがみはら地域づくり大学」受講生

- ・ **参加者** 6 人

- ・ **従事者人員** 1 人

- ・ **支出額** 3,000 円

② 読書推進に関する事業

ア ブックチャンス事業

乳幼児と保護者が絵本を介して、心ふれあう楽しいひとときがもてるチャンスを作っていこうとする事業。

* 平成 28 年度 JT NPO 助成事業

① ブックチャンス

・ 内容

平成 28 年度に引き続き、継続的にブックチャンスを受けられるように、また「チャンス」を知ってもらうために、市内の子育て支援の場所でおこなった。

継続しておこなうことで、子育て支援の場所の担当者との信頼関係も構築でき、ブックチャンスへの理解も深まった。

定例では 1～2 か月に 1 回。単発も、昨年からの継続依頼が多かった。

ボランティア向けのフォローアップ研修も実施し、活動の意義・理解・交流を図り、参加の継続を促進した。

- ・ **日時** 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 全 83 回
- ・ **場所** 相模原市内の子育てひろば等 15 か所
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の親子
- ・ **参加者** 延べ 1,138 組
- ・ **従事者人員** 7 人、ボランティア 34 人(活動ボランティア延べ 245 人)

② ブックチャンス フォローアップ研修公開講座 「ひろかわさえこさんの世界」

・ 内容

講師に、著名な絵本作家・ひろかわさえこ氏を迎え、自作の絵本や紙芝居制作をはじめ、絵本や子どもたちへの思いなどについてお話していただいた。

また、一般の方も参加できる公開講座としたため、当法人のブックチャンス事業を多くの人に知ってもらう機会にもなった。

- ・ **講師** ひろかわさえこ氏(絵本作家)
- ・ **日時** 平成 29 年 1 月 30 日(月) 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模女子大学グリーンホール 多目的ホール
- ・ **対象者** ブックチャンスボランティア、当法人会員、近隣市町村の図書館関係者、おはなし会・読み聞かせサークル、一般市民
- ・ **参加者** 86 人
- ・ **従事者人員** 3 人

③ ベビーフェスタ

- ・ **内容**

相模原市内にて、子育て支援をおこなっているグループと連携してのイベント。

ブックチャンス、わらべうた、音であそぶ、ベビーヨガ、布おもちゃ・布えほんの体験など、それぞれの持ち味を活かしたプログラムを通して、子育てを応援した。

また、参加したグループ間で、新しい出会いや情報交換・交流などがおこなわれ、つながり・連携を持つことができた。

* 共催 相模原市民文化財団

- ・ **日時** 平成 29 年 3 月 5 日(日) 9:00~17:00
- ・ **場所** おださがプラザ 多目的ルーム
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の乳幼児とその保護者
- ・ **参加者** 51 組(子ども 56 人 保護者 91 人)
- ・ **従事者人員** 6 人、ボランティア 22 人
- ・ **支出額** 1,626,193 円(①②③合計)

イ コミュニティラジオ放送番組による読書推進活動事業

放送による読書案内、当法人主催・共催などのイベント案内事業。

- ・ **内容 「ブックらいぶ」**

エフエムさがみ(83.9MHz)で当法人の正会員による「おすすめの本」の紹介や、当法人主催のイベントなどの案内を発信する。時流・季節に沿ったものを中心に、多分野にわたる内容を紹介した。

また、平成 27 年度より開設した専用フェイスブックを通して、収録風景などを発信した。

平成 28 年 5 月には、「トパのオトノバ」という活動をしている音楽家・トパさんこと橋本和久氏をゲストの迎え、音楽や本に関するお話を伺った。同年 7 月に放送 10 周年となった。

なお、平成 29 年 4 月 22 日の放送で 555 回目、同年 7 月で 11 周年となる。

- ・ **日時** 平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月 毎週土曜日 11:00～11:15
- ・ **場所** エフエムさがみ
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の市民
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 120,000 円

ウ 「さがみはら環境まつり」協力事業

さがみはら環境まつり実行委員会主催による、同イベントへの協力。

- ・ **内容**

同イベントのテーマ「地球の未来のために、今できること」に沿った内容の絵本の読み聞かせ及び関連本の展示をおこなった。

- ・ **日時** 平成 28 年 7 月 3 日(日)11:15～11:45、13:30～14:00
- ・ **場所** ユニコムプラザさがみはら
- ・ **対象者** 未就学児童・低学年とその保護者
- ・ **参加者** 11 組
- ・ **従事者人員** 3 人
- ・ **支出額** 9,000 円

エ 体験型読書推進活動事業

絵本の中に出てくる料理を実際に作ってもらうことによって、より絵本に親しんでもらうための事業。

・ 内容

①「クレープをつくろう！」絵本の中の料理を作る会

テーマはクレープ。バナナシェイクも作った。クレープに関する絵本の読み聞かせと関連する本の紹介も行った。お土産としてレシピカードも作成した。

②「カップケーキをつくろう！」絵本の中の料理を作る会

テーマはカップケーキ。カップケーキが出てくる絵本の読み聞かせ、関連本・図書館の紹介をおこなった。

- ・ 日時 ①平成 28 年 7 月 23 日(土) 10:00~12:00 ②平成 28 年 3 月 25 日(土) 10:00~12:00
- ・ 場所 ①②ともに大野南公民館 料理実習室
- ・ 対象者 相模原市及び近隣在住の小学生
- ・ 参加者 ①25 人 ②18 人
- ・ 従事者人員 ①5 人 ②4 人 ボランティア ①②ともに 2 人
- ・ 支出額 ①23,884 円 ②20,681 円

③図書館運営事業

ア 相模大野図書館運営受託事業

相模原市立相模大野図書館の窓口業務等を受託し、地域に根ざした図書館の運営をおこなった。

・ 内容

平成 28 年 10 月から 4 期目の受託となった。

日常業務のほか、活用講座、読書週間等のイベント、実習生、インターンシップ、就労支援の受け入れなどもおこなった。

また、南区の行事に関連した図書館独自のイベントや初となる正月イベントなど、フレキシブルに市と連携し開催できた。

- ・ 日時 通年
- ・ 場所 相模原市立相模大野図書館
- ・ 従事者人員 16 人（実働 43 人）

図書館活用講座

図書館利用普及啓発を目的に、図書館をより活用するための講座を4回開催した。

(主催 相模原市立相模大野図書館)

各回、図書館員が関連本を紹介し、冊子の作成もした。同時にそれぞれの図書館活用講座にちなんで「特集コーナー」を設けた。

「心豊かなシニアライフを迎えるために～いま私たちができること～」

- ・ **内容** シニア世代前の方を対象に、講師による具体的な家計や生活時間についての講義と、図書館員によるブックトークをおこなった。
- ・ **講師** 相模友の会
- ・ **日時** 平成28年7月8日(金) 10:00～12:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 44人
- ・ **従事者** 4人

「マネー教室〈入門編〉～貯蓄、投資から経済情報の読み方まで～」

- ・ **内容** 金融広報アドバイザーによる貯蓄、投資に関する講義と図書館員による関連本の紹介。〈入門編〉と銘打ったことで20～30代の方の参加が多かった。
- ・ **講師** 大場輝喜氏(神奈川県金融広報委員会)
- ・ **日時** 平成28年9月24日(土) 10:00～12:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 37人
- ・ **従事者** 3人

「耳で楽しむ文学 ～講談～」

- ・ **内容** 毎回好評で今回で3回目の開催。プロの講談師による実演とワークショップや、図書館員による講談の歴史解説などをおこなった。
- ・ **講師** 神田阿久鯉氏(講談師)
- ・ **日時** 平成29年2月3日(金) 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 49人
- ・ **従事者** 3人

郷土を知る～さがみはら今昔～

「相模原伝説探訪～語り継がれる照手姫伝説ほか～」

- ・ **内容** 「郷土を知る～さがみはら今昔」のシリーズ。今回は相模原に伝わる伝説についての講義をおこなった。図書館員による紙芝居も上演した。
- ・ **講師** 木村弘樹氏（相模原市立博物館）
- ・ **日時** 平成 29 年 3 月 3 日（金） 14:00～16:00
- ・ **場所** 相模原市立相模大野図書館 集会室
- ・ **対象者** 相模原市及び近隣在住の一般市民
- ・ **参加者** 47 人
- ・ **従事者** 4 人

秋の読書週間

平成 28 年 10 月 27 日～11 月 9 日の秋の読書週間に、図書館ツアーや利用者参加型の特集コーナー、レファレンスクロスワード、絵本総選挙など、読書活動推進のための各イベントをパッケージ化しておこなった。また、館内、外階段を飾りつけるなど、イベントを盛り上げる工夫を凝らした。

イ 相模原市内学校図書室業務受託事業

日本人としての国際人教育を目指す LCA 国際小学校の図書室の運営を受託した。

- ・ **内容** LCA 国際小学校学校図書室司書業務
- ・ **日時** 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日
- ・ **場所** LCA 国際小学校図書室
- ・ **従事者人員** 1 人

- ・ **支出額** 93,348,433 円(図書館運営事業ア, イ合計)

ウ 勉強会事業

図書館関連の各分野における有識者の講師による講演。

- ・ **内容** 「レファレンスの役立つ～法情報の調べ方～」
法情報の調べ方を中心に、基本的な裁判の仕組み、法律用語、レファレンス資料などについてお話しいただいた。
- ・ **講師** 鈴木敦氏(ロー・ライブラリアン研究会)
- ・ **日時** 平成 28 年 11 月 21 日(月) 10:30～12:30
- ・ **場所** ユニコムプラザさがみはら
- ・ **対象者** 図書館関係者、一般市民
- ・ **参加者** 31 人
- ・ **従事者人員** 2 人
- ・ **支出額** 38,350 円

NPO 関係研修参加実績一覧(平成 28 年度)

No.	日時	研修名	主催者	研修内容	備考
1	4/28	指定 NPO 法人研修会	相模原市民協働 推進課	指定 NPO 法人制度について 及び交流会	
2	10/22	児童文学講演会 ～子どもとわたし～ 「私の絵本の入り口」	(一財)升水記念 市民図書館	絵本作家・イラストレータの 石川えりこさん制作について・ 読み聞かせ・一日原画展	講師: 石川えりこ氏 於: 一般財団法人 升水記念市民図書館
3	12/11	しぶやフォーラム 2016 「幼い子どもの目を見た あの日」	しぶやフォーラム 実行委員会	絵本作家の長野ヒデ子さんに よる絵本トーク	講師: 長野ヒデ子氏 於: 渋谷男女平等・ ダイバーシティセンター
4	2/11	特定非営利活動促進法 の改正及び法人事務手続 等説明会	相模原市民協働 推進課	法改正に伴う事務手続等に 関する説明	於: けやき会館2階 職員研修所大研修室

図書館関係研修参加実績一覧(平成 28 年度)

No.	日時	研修名	主催者	研修内容	備考
1	4/26	Face Book を活用しよう	専門図書館協議会	Face Book の基本原理、その使い方の実際の効果など、Face Book の魅力が活かされた活用例の紹介	於: 日本図書館協会
2	5/12	内部研修会/ 認知症サポーター養成講座	認定 NPO 法人 らいぶらいぶ	認知症の症状の理解、関わり方について学び、気持ちの良いカウンター対応を行うために出来ること	講師: 大野南高齢者支援センター職員 及びキャラバン・メイト
3	6/1	子どもの力 ～図書館のためのブックフェア 2016～ 学校図書館の環境づくり	図書流通センター	子どもたちが行きたがる学校図書館とは、どのような場所か。環境づくりという視点から魅力的な学校図書館をつくるヒントを紹介	講師: 藤田利江 (全国学校図書館協議会学校図書館スーパーバイザー) 於: 横浜赤れんが倉庫
4	6/8～ 10	障害者サービス担当職員養成講座	日本図書館協会	障害者サービスの基礎	実習: 調布市立中央図書館
5	7/25	イブニングセミナー 「ビジネス支援における法情報の調べ方」	専門図書館協議会	図書館員の視点・立場から、ビジネスと法情報についてのわかりやすい講義	講師: 鈴木 敦氏 (中央大学) 於: 日本図書館協会
6	7/27	レファレンス協同データベース 事業担当者研修会	国立国会図書館	レファレンス協同データベースのシステム機能・データの作成・公開に必要な知識・技能を理解する	於: 国立国会図書館 東京本館
7	8/4・17	生涯学習指導者研修 「読書活動実践コース」	神奈川県立図書館	子どもが生涯にわたって読書に親しむために	於: 8/4～かながわ県民センター 8/17～大和生涯学習センター
8	9/13・ 14	図書館等職員著作権実務講習会	文化庁	著作権法・著作権実務演習	於: 東京大学 本郷キャンパス
9	10/13	内部研修会/ 相模大野図書館業務受託について	認定 NPO 法人 らいぶらいぶ	・相模大野図書館業務受託についての提案 ・NPO 法人らいぶらいぶの目指す働き方	

10	10/16	全国図書館大会 東京大会	日本図書館協会	<p>テーマ:地域創造と図書館の未来</p> <p>分科会(数字は分科会番号) 1「公共施設の再編と公立図書館の未来」 6「障害者差別解消法への具体的取組」 9「ここからはじまる資料保存」</p>	於:青山学院大学 青山キャンパス
11	10/20 ~21	レファレンスサービス研修 ~法令・議会・官庁資料を 中心に~	国立国会図書館	レファレンスサービスの実態と課題から、レファレンスプロセス・レファレンスインタビュー・探索戦略立案などのレファレンスサービスに関する理論の解説し、実務への活用方法を提示	於:国立国会図書館 東京本館
12	10/24 ~26 11/28 ~30	中堅職員ステップアップ研修 (1)全12回	日本図書館協会	<p>①図書館利用に障害のある人へのサービス</p> <p>②図書館運営の評価と指標</p> <p>③図書館の動向と図書館経営</p> <p>④図書館のサービス計画</p> <p>⑤図書館サービスと著作権</p> <p>⑥図書館の未来を切り開く! ライブラリーファシリテーション実践講座</p> <p>⑦コレクションづくりの考え方</p> <p>⑧コレクションづくりの実際</p> <p>⑨レファレンスツールの評価</p> <p>⑩レファレンスインタビューの方法</p> <p>⑪レファレンスクエスチョンの処理</p> <p>⑫図書館の自由</p>	講師:佐藤聖一氏他 於:日本図書館協会
13	11/8~ 10	第18回図書館総合展	図書館総合展 運営委員会	<p>11/8「大和市文化創造拠点開館記念フォーラム」 「地域創生時代の町立図書館」 「図書館は学生と社会をつなぐ KEY STATION!!」</p> <p>11/9「医中誌 Web を公立図書館で使う」</p>	於:パシフィコ横浜
14	11/9	神奈川の図書館を語ろう	日本図書館協会 神奈川のつどい	経験や事例を持ち寄り、明日の神奈川の図書館について語り合う	於:横浜市開港記念館

15	11/16	新聞記事データベース検索実習「日経テレコン」入門	神奈川県立図書館	新聞記事データベース「日経テレコム」の使い方を実際に操作しながら学ぶ	
16	11/17	雑誌論文・記事の探し方入門	神奈川県立図書館	雑誌記事や論文の探し方の入門編。 主にインターネット上のデータベース(国立国会図書館雑誌記事索引・CiNii Articles)の使い方、県立図書館OPACの紹介・実習	
17	12/8	相模原市図書館職員専門研修「認知症サポーター養成講座」	相模原市立図書館	認知症の正しい知識と、基本的な認知症高齢者への接し方を学ぶ	
18	12/8	AED 研修	相模原市立 相模大野図書館	AED が設置されることから、その使い方の実際を学ぶ	
19	12/12 ～14	障害者サービス担当職員養成講座	国立国会図書館	障害者サービスの基礎	於：国立国会図書館 関西館 実習：枚方市中央 図書館
20	1/24	子どもの図書館をつくる	実践女子大学 図書館学課程	①児童図書館の歴史 ②子ども図書館を考える ～地域計画の見直し・サービス 目標を考える・建築計画を 考える ③児童室のレイアウトを考える ～ゾーン計画・建築計画書の 実際・子どもに適したサイズを 測る	講師：杉岡和弘氏 (日本図書館協会 児童青少年委員会 委員)
21	2/11	地域資料・情報サービスの積極的な展開を考える	町田市立中央 図書館	住民生活と地域社会における 確固たる位置付けを占める 図書館をめざすために	講師：戸室幸治氏 (三多摩図書館 研究所所長)
22	2/21	医療・健康情報サービス 研修会 フォローアップ研修	日本医学図書館 協会	がん教育の概要と図書館 への期待	講師：若尾文彦 (国立がん研究 センター がん対策 情報センター長) 於：東邦大学 大森 キャンパス
23	3/7	子どもの本 ～この1年を振り返って2016	出版文化産業 振興財団	2016年はどんな子どもの本 が出版され、どのように 読まれたか	於：(株)図書館流通 センター